

公益財団法人岩手県文化振興事業団第7回理事会議事録

- 1 開催日時 平成24年5月29日(火) 午後1時30分～
- 2 開催場所 岩手県民会館 会議室
- 3 出席者 理事総数 5名
出席理事 5名
理事長 池田 克典 理事 熊谷 常正
理事 齋藤 哲子 理事 柴田 和子
理事 原田 光
監事総数 1名
出席監事 1名
監事 梅木 敬時
- 4 議長 理事長 池田 克典
- 5 決議事項
議案第1号 平成23年度事業報告及び付属明細書の承認について
議案第2号 平成23年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び
付属明細書並びに財産目録の承認について
議案第3号 平成24年度事業計画変更の承認について
議案第4号 平成24年度収支補正予算の承認について
議案第5号 公益財団法人岩手県文化振興事業団理事候補者の選任について
議案第6号 公益財団法人岩手県文化振興事業団監事候補者の選任について
議案第7号 理事の報酬額について
議案第8号 定時評議員会の日時、場所、議事に付すべき事項について

6 議事の経過の要領及びその結果

定刻理事長が議長席に着き開会を宣し、本理事会は定款第35条の規定に定める定足数を満たしており、適法に成立した旨を告げ、次の議案の審議に入った。

- (1) 議案第1号 平成23年度事業報告及び付属明細書の承認について

- (2) 議案第2号 平成23年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）
及び附属明細書並びに財産目録の承認について

議長は議案第1号及び第2号を上程し、総務部立花参事より別紙議案書に基づき説明、及び梅木監事による監査報告がなされ、その賛否を諮ったところ、下記の意見等をもって、全員これを承認した。

【理 事】

美術館事業報告から、企画による観覧者数は確保できているという内容に好感をもった。公益への移行により組織が締まったイメージがあり、指定管理者制度の中で県民会館等改善されている部分もあるが、ひとつひとつの事業を行っていくことで全体を盛り上げていければいいと思う。

- (3) 議案第3号 平成24年度事業計画変更の承認について
(4) 議案第4号 平成24年度収支補正予算の承認について

議長は議案第3号及び4号を上程し、総務部立花参事より別紙議案書に基づき説明がなされ、その賛否を諮ったところ、下記の質疑等を経て、全員異議なくこれを承認した。

【理 事】

埋文センターの発掘調査事業について、今後震災復興事業の増加が予想されるが、その際には室内整理を停止して、発掘調査を優先する等考えているのかどうか。

【埋蔵文化財センター首席文化財専門員】

具体的な調査は夏から秋以降に始まる予定である。現在室内整理を行っている遺跡はそのまま継続しており、復興事業が始まったらすぐ対応できるような体制を整えている。

- (5) 議案第5号 公益財団法人岩手県文化振興事業団理事候補者の選任について
議長は議案第5号を上程し、総務部立花参事より別紙議案書に基づき説明がなされ、その賛否を諮ったところ、全員異議なくこれを承認した。

併せて、議長より齋藤信之理事候補者及び菊池和憲理事候補者の業務執行理事の選定について、定款35条第2項に定める書面決議についての説明がなされ、全員異議なくこれを承認した。

(6) 公益財団法人岩手県文化振興事業団監事候補者の選任について

議長は議案第6号を上程し、総務部立花参事より別紙議案書に基づき説明がなされ、その賛否を諮ったところ、全員異議なくこれを承認した。

(7) 理事の報酬額について

議長は議案第7号を上程し、総務部立花参事より別紙議案書に基づき説明がなされ、その賛否を諮ったところ、全員異議なくこれを承認した。

(8) 定時評議員会の日時、場所、議事に付すべき事項について

議長から定時評議員会を次のとおり開催したい旨、総務部立花参事より別紙議案書に基づき説明がなされ、この賛否を諮ったところ、全員異議なくこれを可決した。

- ① 開催日時 平成24年6月14日(木) 午後1時30分
- ② 開催場所 岩手県民会館会議室
- ③ 決議事項 議案第1号 平成23年度計算書類等の承認の件
議案第2号 理事選任の件
議案第3号 監事選任の件
議案第4号 理事報酬額の件

7 報告

(1) ①中期経営計画書について。

②事故繰越について。

③理事会回数の訂正について。

職務執行状況について、別紙資料に基づき、上記のとおり総務部立花参事より報告があり、全員意見なくこれを了承した。

8 その他

【理事】

先日実施された県民オペラの成果について、主催者としてどのような総評をしているのか。

【県民会館参事】

ある一定の成果を収めることができたという認識である。今後さらに発展させていくのか等、内部で検討中である。

【理 事】

演出、構成、舞台美術等についてお粗末な印象であった。素人とプロの差は必ず出てくると思うが、もう少しワークショップの段階で中身を濃いものにするべきである。次回も続けるのであれば、よく考えて実施すべきだろう。

【県民会館参事】 今後検討を重ねる際に、今の意見を踏まえ、事業内容を考えていきたい。

【理 事】

この件に関して、構成等誰がどういう指導していたのか、指導、構成の仕方等役に立てることがあればと思っている。企画書を見せて頂きたい。

【理 事】

文化振興基金より備品整備事業について、2カ年の計画年度内に事業が終わらない可能性が高いと思われる。その際の対応について、状況に応じて判断して頂きたい。また、支援した団体等に係る成果等について、紹介できるような企画を要望する。

以上をもって議事の全部の審議及び報告を終了したので、午後2時50分閉会を宣し、解散した。

上記議事の経過の要領及び結果を明確にするため、理事長及び監事が記名押印する。

平成24年6月5日

公益財団法人岩手県文化振興事業団

議 長 池 田 克 典 印

監 事 梅 木 敬 時 印